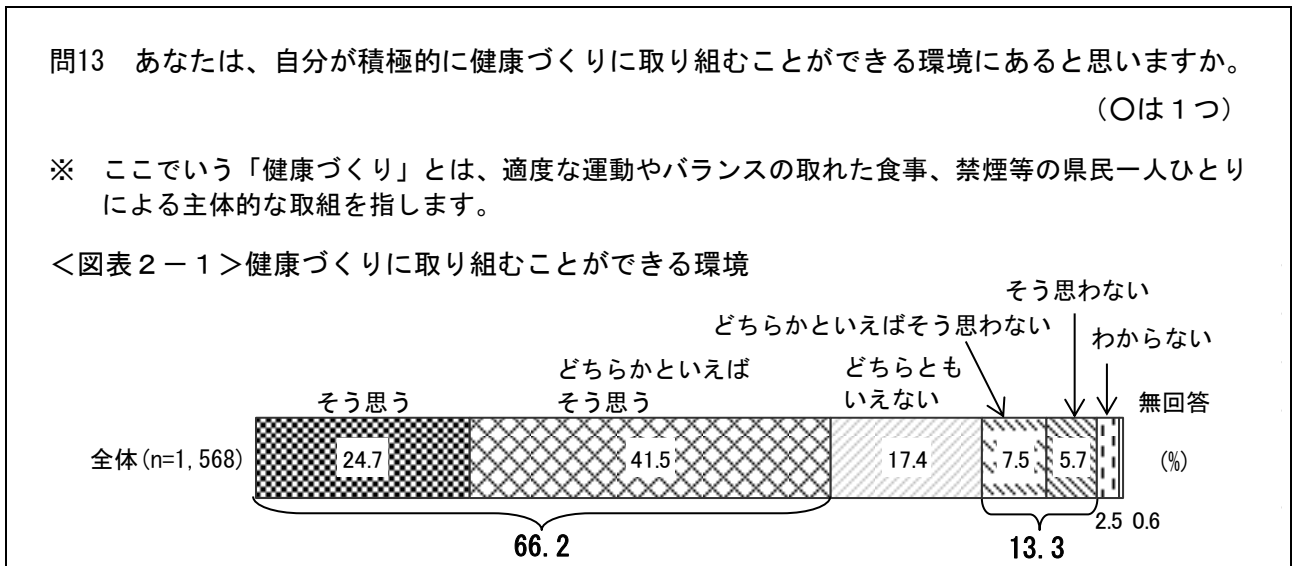


2 健康について

（1）健康づくりに取り組むことができる環境

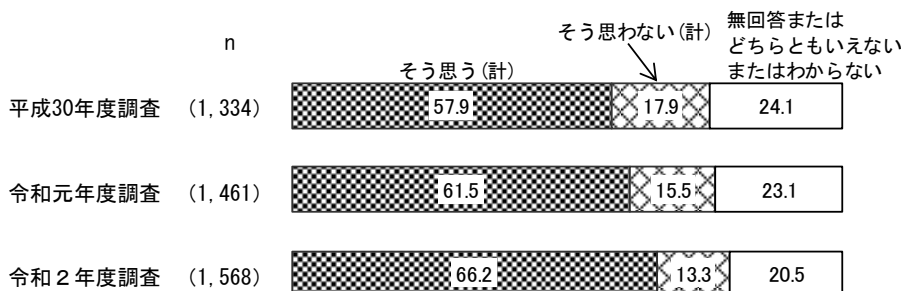
◇『そう思う（計）』が6割台半ば



自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思うか聞いたところ、「そう思う」（24.7%）と「どちらかといえばそう思う」（41.5%）を合わせた『そう思う（計）』（66.2%）が6割台半ばで高くなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（7.5%）と「そう思わない」（5.7%）を合わせた『そう思わない（計）』（13.3%）が1割を超えている。（図表2-1）

〔参考〕平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

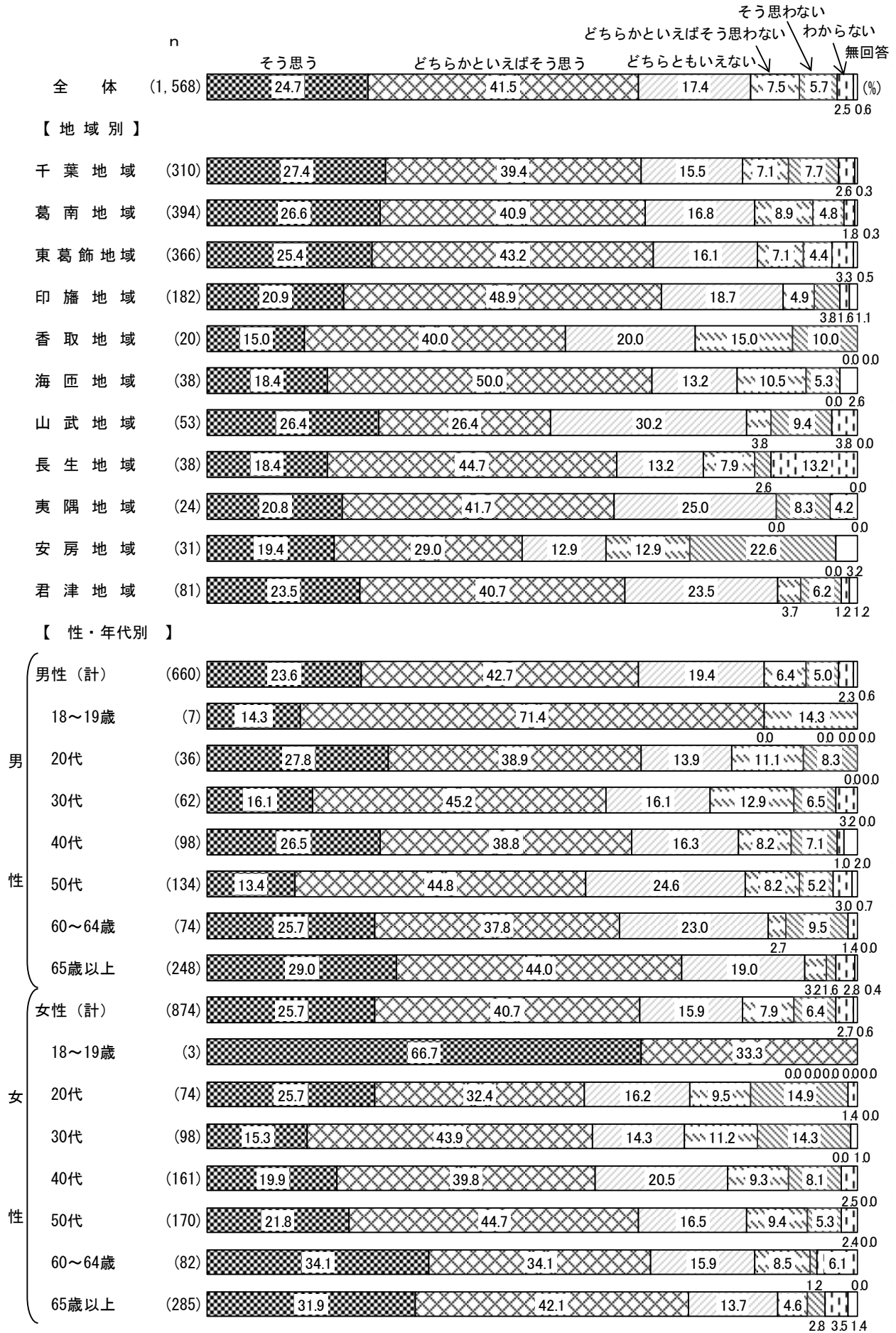
地域別にみると、『そう思わない（計）』は“安房地域”（35.5%）が3割台半ばで高くなっている。（図表2-2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う（計）』は女性の65歳以上（74.0%）が7割台半ば、男性65歳以上（73.0%）が7割を超えて高くなっている。

一方、『そう思わない（計）』は女性の20代（24.3%）と女性の30代（25.5%）が2割台半ばで高くなっている。（図表2-2）

<図表2-2>健康づくりに取り組むことができる環境／地域別、性・年代別



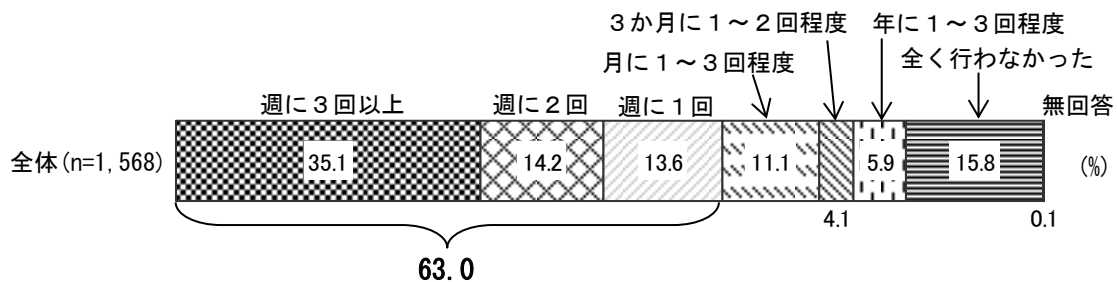
（2）1年間に行った運動の程度

◇『週1回以上運動した（計）』が6割を超える

問14 あなたは、この1年間に運動やスポーツをどの程度行いましたか。（○は1つ）

※ ここでいう「運動やスポーツ」とは、自転車の利用、階段昇降、散歩、ぶらぶら歩き、通勤時の一駅歩き等の比較的軽い運動やスポーツを含みます。

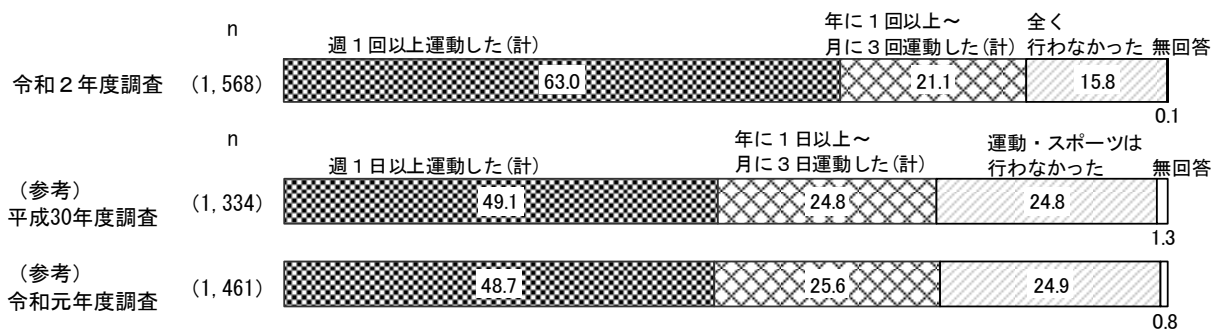
<図表2-3> 1年間に行った運動の程度



この1年間にどの程度運動やスポーツを行ったか聞いたところ、「週に3回以上」（35.1%）、「週に2回」（14.2%）、「週に1回」（13.6%）の3つを合わせた『週1回以上運動した（計）』（63.0%）が6割を超えている。

一方、「全く行わなかった」（15.8%）が1割台半ばとなっている。（図表2-3）

【参考】平成30年度・令和元年度の類似の項目による調査結果との比較（単位：％）



（※）平成30年度・令和元年度調査で、「あなたは、健康づくりなどのために1年間に何日くらい運動やスポーツを行いましたか。（○は1つ）」

※ここでいう「運動やスポーツ」とは、比較的軽い運動やスポーツ（ウォーキングや軽い体操、ダンスなどのレクリエーション活動等）を含みます。」と質問した結果を参考に示した。

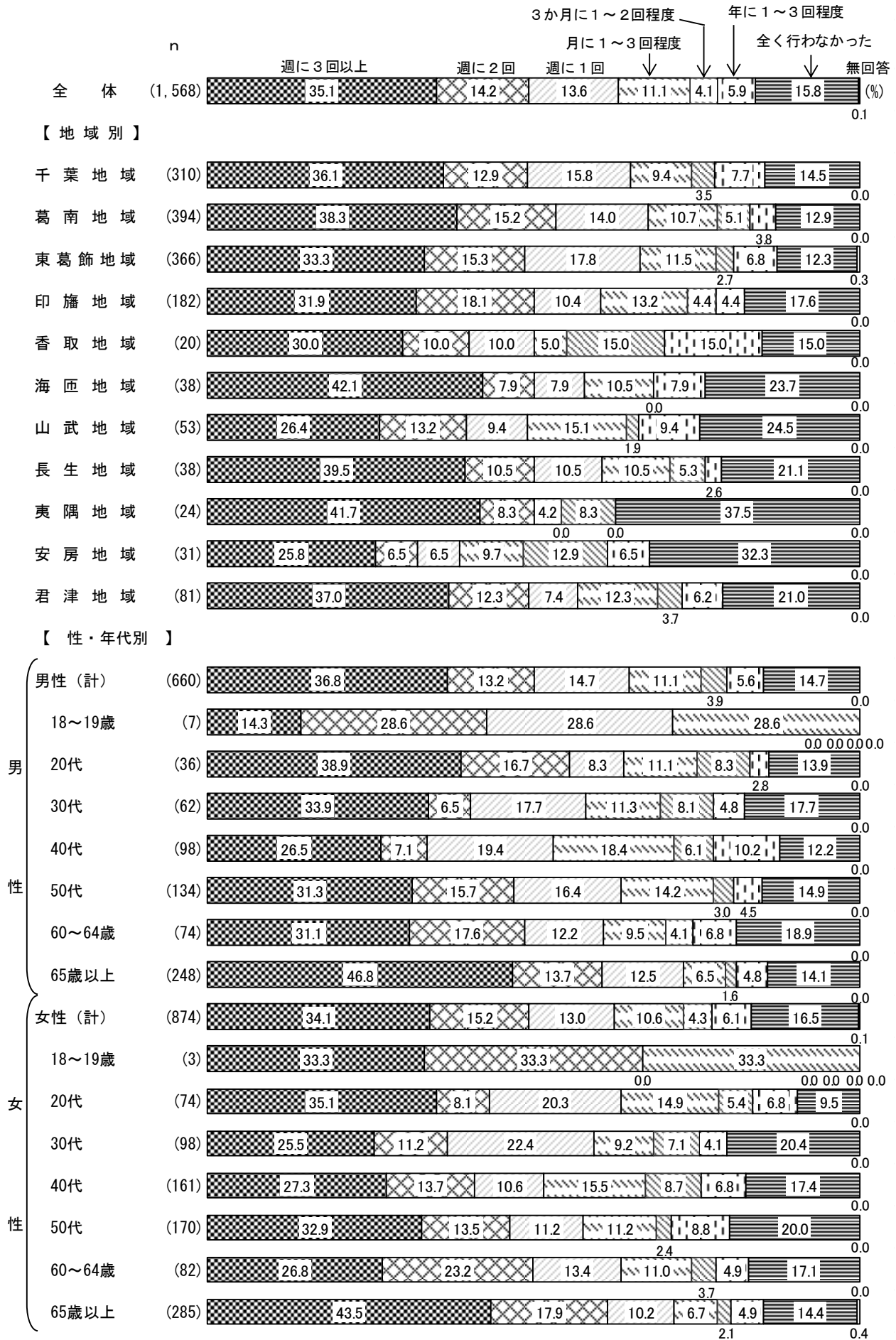
【地域別】

地域別にみると、『週1回以上運動した（計）』は“葛南地域”（67.5%）が約7割で高くなっている。一方、「全く行わなかった」は“夷隅地域”（37.5%）が約4割、“安房地域”（32.3%）が3割を超えて高くなっている。（図表2-4）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『週1回以上運動した（計）』は男性の65歳以上（73.0%）と女性の65歳以上（71.6%）が7割を超えて高くなっている。（図表2-4）

<図表2-4> 1年間に行った運動の程度／地域別、性・年代別

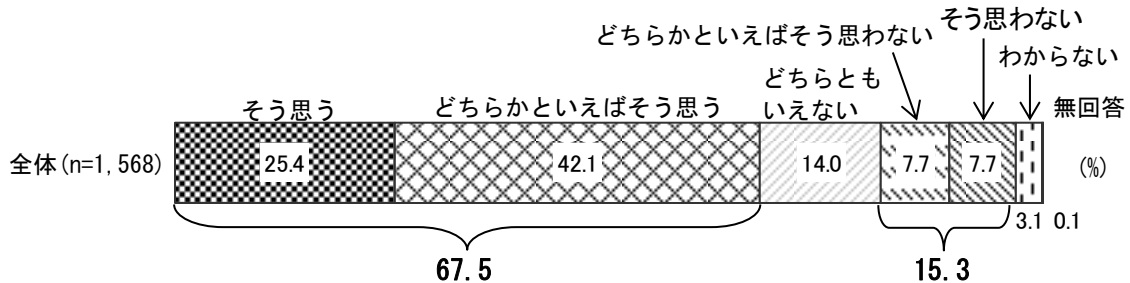


（3）安心して受診できる医療体制

◇『そう思う（計）』が約7割

問15 あなたは、自分が住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思いますか。
（○は1つ）

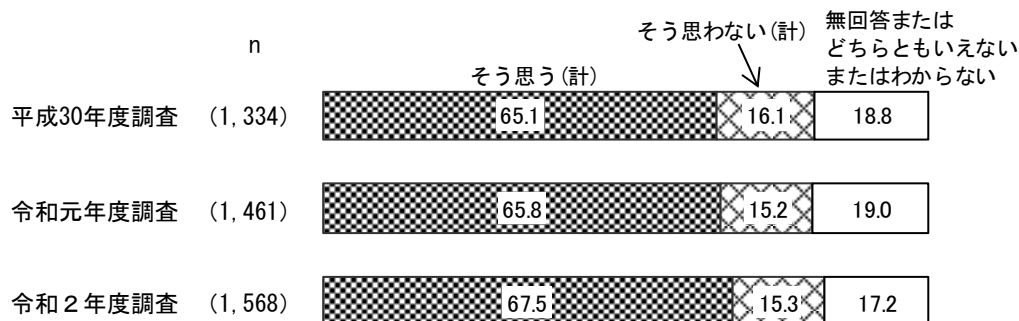
<図表2-5>安心して受診できる医療体制



住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思うか聞いたところ、「そう思う」（25.4%）と「どちらかといえばそう思う」（42.1%）を合わせた『そう思う（計）』（67.5%）が約7割で高くなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（7.7%）と「そう思わない」（7.7%）を合わせた『そう思わない（計）』（15.3%）が1割台半ばとなっている。（図表2-5）

〔参考〕平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

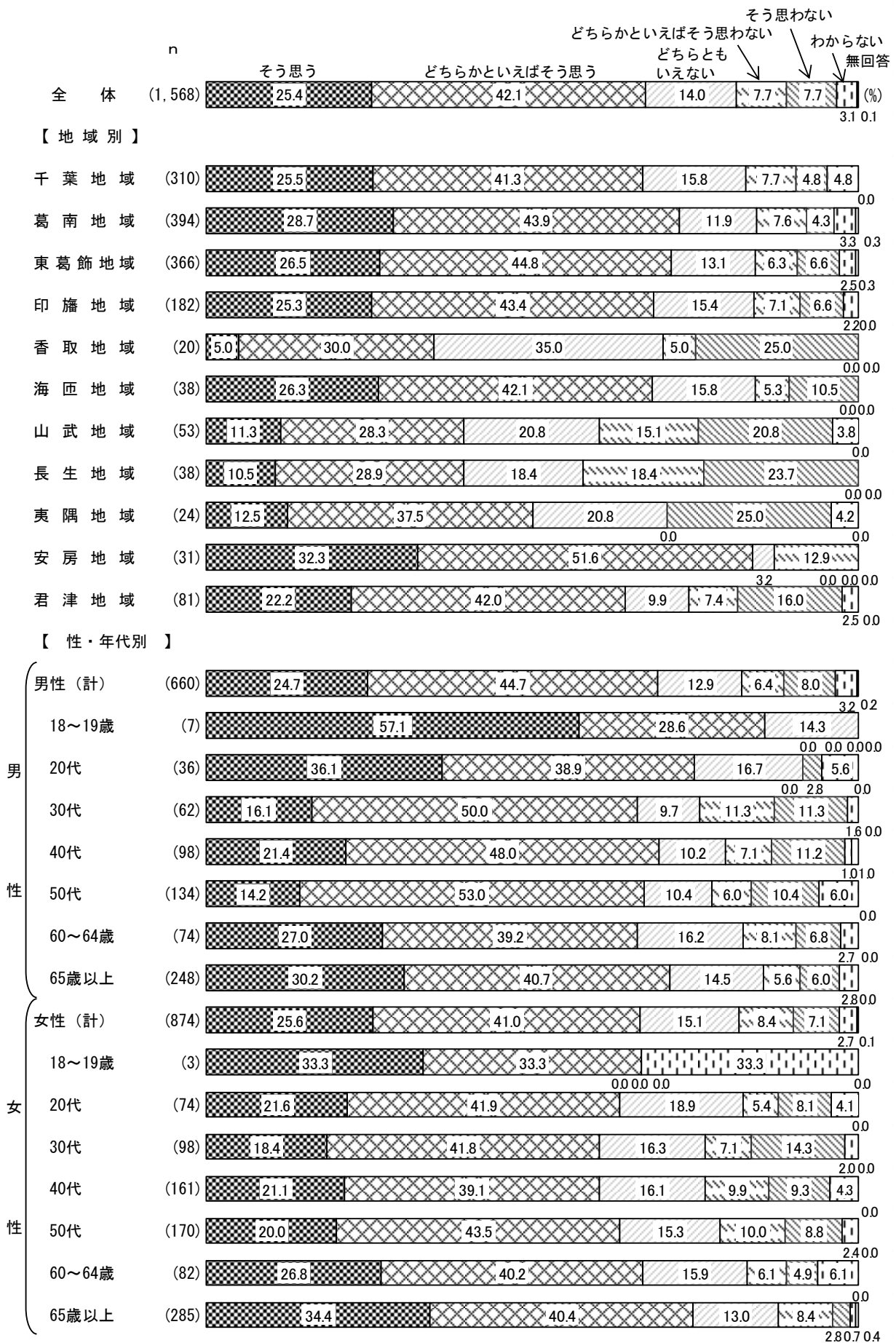
地域別にみると、『そう思う（計）』は“安房地域”（83.9%）が8割台半ば、“葛南地域”（72.6%）が7割を超えて高くなっている。

一方、『そう思わない（計）』は“長生地域”（42.1%）が4割を超え、“山武地域”（35.8%）が3割台半ば、“君津地域”（23.5%）が2割台半ばで高くなっている。（図表2-6）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う（計）』は女性の65歳以上（74.7%）が7割台半ばで高くなっている。（図表2-6）

<図表2-6>安心して受診できる医療体制／地域別、性・年代別



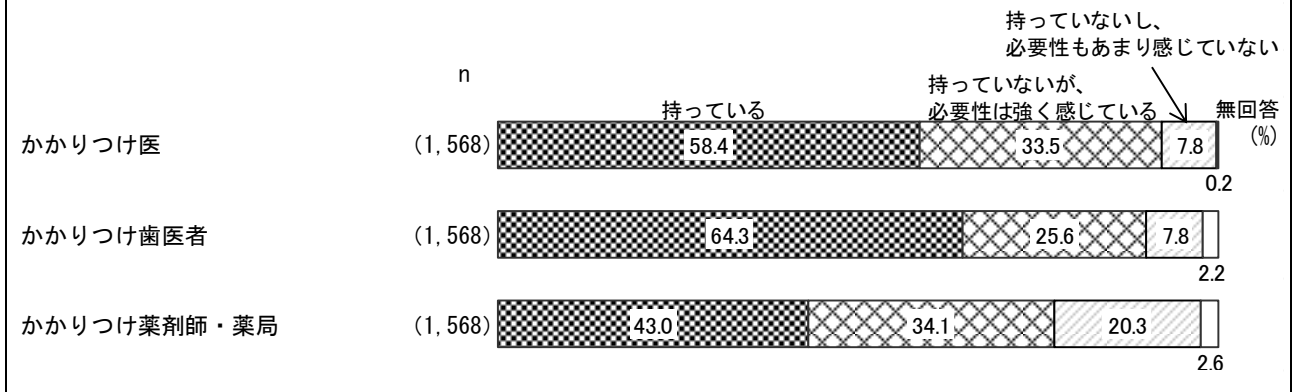
（４）かかりつけ医の有無

◇かかりつけ歯科医を持っているが6割台半ば、かかりつけ医を持っているが約6割

問16 あなたの過去の病歴や体質などを知っていて、気軽に相談に応じてくれるとともに、必要なときには他の専門機関等を紹介してくれる、身近な医師、歯科医師、薬剤師・薬局を「かかりつけ医、歯科医、薬剤師・薬局」と呼んでいます。

あなたは、「かかりつけ医」等をお持ちですか。（○はそれぞれ1つずつ）

＜図表2-7＞かかりつけ医の有無



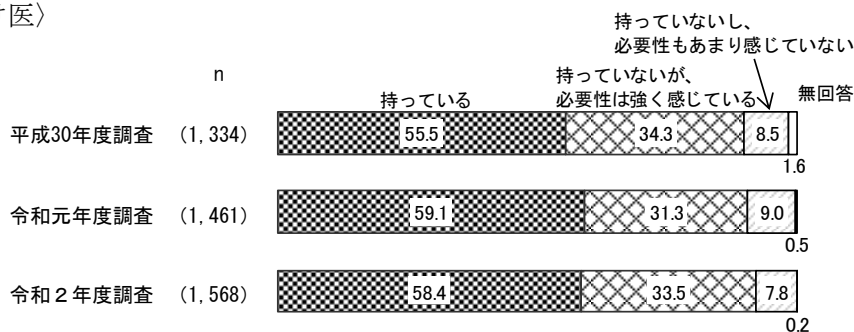
かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師・薬局を持っているかどうかを聞いたところ、「持っている」は〈かかりつけ歯科医〉（64.3%）が6割台半ば、〈かかりつけ医〉（58.4%）が約6割、〈かかりつけ薬剤師・薬局〉（43.0%）が4割を超えている。

また、「持っていないが、必要性は強く感じている」は〈かかりつけ薬剤師・薬局〉（34.1%）と〈かかりつけ医〉（33.5%）が3割台半ばとなっている。

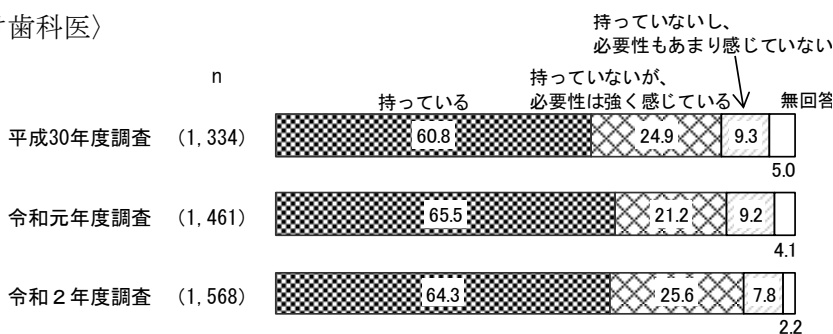
「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は〈かかりつけ薬剤師・薬局〉（20.3%）が2割となっている。（図表2-7）

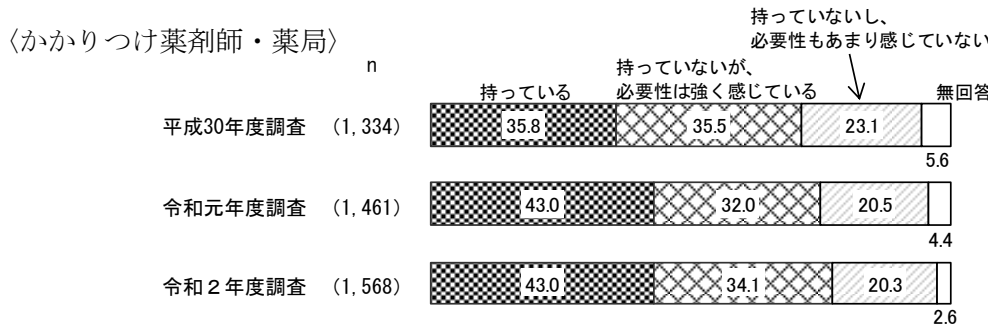
【参考】平成30年度・令和元年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

〈かかりつけ医〉



〈かかりつけ歯科医〉





【地域別】

地域別にみると、〈かかりつけ医〉を「持っている」は“海匠地域”（81.6%）が8割を超え、“山武地域”（71.7%）が7割を超えて高くなっている。

〈かかりつけ歯科医〉を「持っていないが、必要性は強く感じている」は“安房地域”（41.9%）が4割を超えて高くなっている。

〈かかりつけ薬剤師・薬局〉を「持っている」は“長生地域”（63.2%）が6割を超えて高くなっている。

「持っていないが、必要性は強く感じている」は“安房地域”（54.8%）が5割台半ば、“東葛飾地域”（38.5%）が約4割で高くなっている。

「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は“東葛飾地域”（24.9%）が2割台半ばで高くなっている。（図表2-8）

【性・年代別】

性・年代別にみると、〈かかりつけ医〉を「持っている」は男性の65歳以上（79.8%）と女性の65歳以上（79.6%）が約8割で高くなっている。

「持っていないが、必要性は強く感じている」は女性の30代（53.1%）が5割を超え、男性の40代（50.0%）が5割、男性の30代（48.4%）と女性の40代（47.8%）が約5割、男性の50代（41.8%）が4割を超えて高くなっている。

「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は男性の30代（24.2%）が2割台半ば、女性の20代（20.3%）が2割、女性の30代（15.3%）が1割台半ばで高くなっている。

〈かかりつけ歯科医〉を「持っている」は男性の65歳以上（76.6%）と女性の65歳以上（74.4%）が7割台半ばで高くなっている。

「持っていないが、必要性は強く感じている」は男性の20代（44.4%）と男性の30代（46.8%）が4割台半ば、男性の40代（42.9%）が4割を超えて高くなっている。

「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は女性の20代（20.3%）が2割、男性の30代（19.4%）が約2割、男性の20代（16.7%）が1割台半ば、男性の40代（13.3%）が1割を超えて高くなっている。

〈かかりつけ薬剤師・薬局〉を「持っている」は女性の65歳以上（62.5%）が6割を超え、男性の65歳以上（59.7%）が約6割で高くなっている。

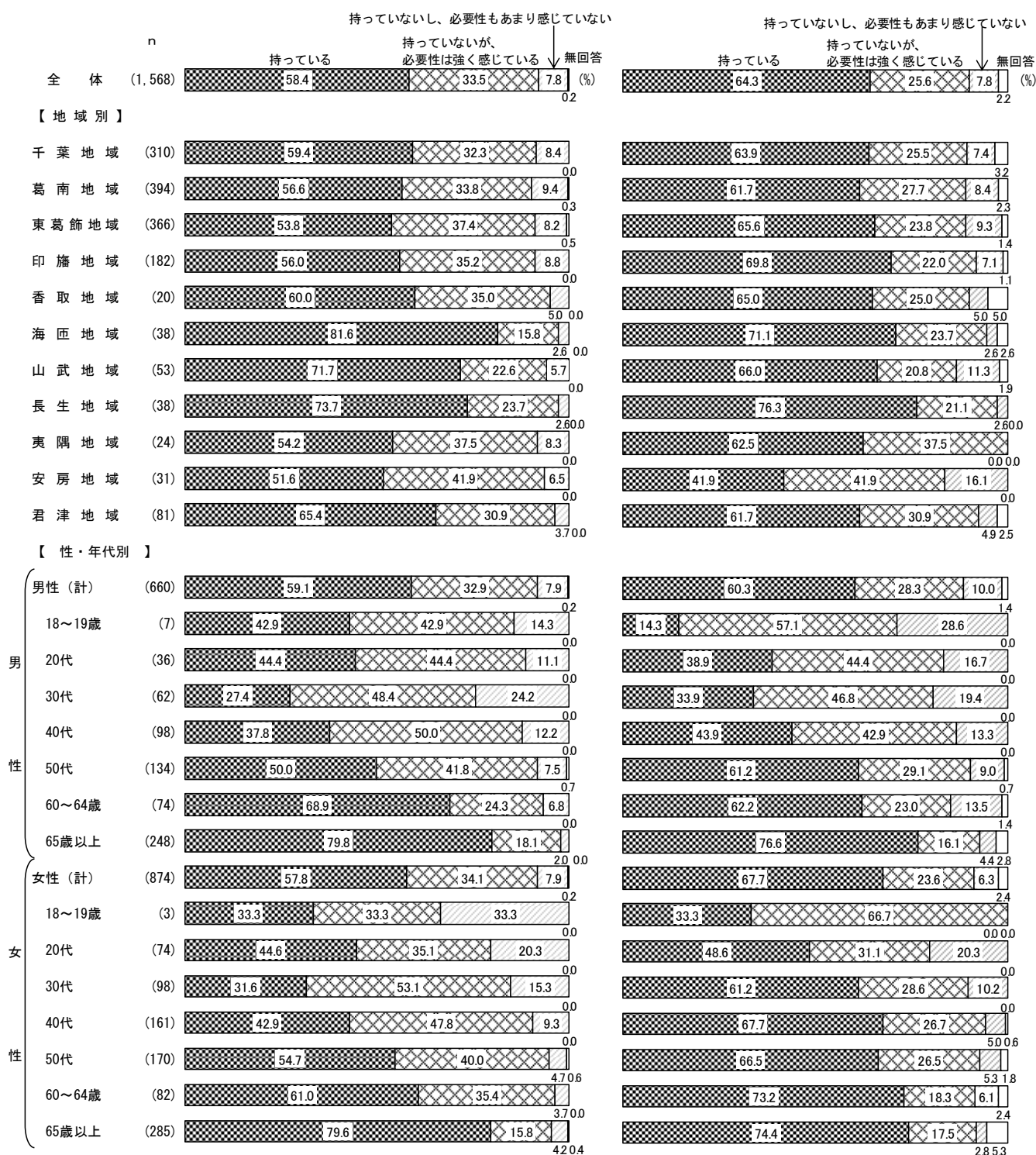
「持っていないが、必要性は強く感じている」は男性の20代（52.8%）が5割を超え、男性の40代（49.0%）と女性の30代（48.0%）が約5割、男性の30代（46.8%）と女性の40代（43.5%）が4割台半ばで高くなっている。

「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は男性の30代（38.7%）が約4割、女性の20代（33.8%）が3割台半ば、男性の40代（30.6%）が3割、女性の30代（28.6%）が約3割で高くなっている。（図表2-8）

<図表2-8>かかりつけ医の有無／地域別、性・年代別

〈かかりつけ医〉

〈かかりつけ歯科医〉



〈かかりつけ薬剤師・薬局〉

